



シンガポールにおけるメタバース事情

北陸銀行 国際部
シンガポール駐在員事務所
所長 上原 清志

1. はじめに

「メタバース」は最近よく耳にするキーワードであり、ご関心がある方も多いと思います。ここシンガポールでは子供から大人、民間企業といった幅広い層でメタバースプラットフォームが人気となっており、私自身も実際に体験しています。

そうした中、シンガポール大手地場銀行のひとつOCBC銀行が、大手銀行では初めてメタバースプラットフォーム内に仮想店舗を開設したというニュースを目にしました。バーチャルとリアルの橋渡しを狙った試験的な取り組みとして、今後の動向が注目されています。

そこで今回は、OCBC銀行の仮想店舗開設などシンガポールにおけるメタバース事情を少しご紹介いたします。

2. メタバースとは？

《概要》

- ・「メタ (meta) = 高次」と「ユニバース (universe) = 宇宙」を組み合わせた造語
- ・仮想世界や仮想空間を指す用語で、現実世界のように3次元の空間や物理法則を持ち、人々が仮想的なキャラクター(いわゆるアバター)を自分の分身として参加させ、コミュニケーションや交流を行うことができるデジタル空間
- ・仮想現実技術、拡張現実技術、人工知能、ブロックチェーンなどの最新技術の組み合わせによって実現されることが多く、インターネット上での新たな次元の社会的・経済的活動が行われることが想定されている

様々な企業がメタバースプラットフォームに続々と参入する意図は、アバターとして参加した人々に企業の商品やサービスに対する理解を深めてもらい、現実の世界で(将来の)顧客候補を増やすことが主な狙いだと思います。例えば、子供や若年層の場合、ファッション・コスメ系なら新商品提案、銀行系なら金融教育でアバターを取り込むといった感じでしょうか。

また、アセット取引や仮想通貨決済の機能を充実させることで新たな投資ビジネスの芽が生まれます。法整備や決済ルールなどがまだ追い付いていないといった課題もありますが、近い将来当たり前の世界になると予想します。

3. 仮想店舗の事例

(1) OCBC銀行

- ・仮想店舗『OCBCx65Chulia』を「Decentraland(ディセントラランド)」に開設(※65Chuliaは本店住所)
- ・仮想空間上の土地を9区画所有し、その上に仮想店舗を設置
- ・バーチャルロビー・OCBC銀行の歴史博物館などを備えており、アバターに関心を持ってもらいながら、最新の銀行商品も紹介
- ・口座開設やクレジットカード申込を受付(バーチャルからリアル取引への誘導)

【参考：OCBC銀行WebsiteおよびThe Straits Times】

OCBC担当者は「若年層を将来の顧客に育てていく上で、仮想店舗はバーチャルとリアルを橋渡しする役割として有効活用できる。まだメタバースへの懐疑的な意見も聞こえるが、このプラットフォームは顧客をつなぐ新たな道の一つになり得るだろう」とコメントしています。まだトライアル段階ですが、テクノロジー先進国シンガポールにある銀行らしく、遊び心を持った柔軟な取り組みに映ります。



【OCBC銀行の仮想店舗内イメージ】

(2) シンガポール・チャンギ空港

最新動向として、シンガポール・チャンギ空港グループがメタバースプラットフォーム「Roblox(ロブックス)」に『ChangiVerse(チャンギバース)』を開設しました。こちらは、仮想空間内をカートレースで巡るゲームなどが特徴です。航空券プレゼントや限定デジタルアイテムを提供し、チャンギ空港や併設商業施設の認知を深めてもらうことを狙いとしています。当然、アバターやその家族に現実のチャンギ空港や併設商業施設へ足を運び買い物などをしてもらうことも戦略の延長線上にあります。もしかすると日本の空港でも「HanedaVerse(ハネダバース)(仮)」などを開設して追随するかもしれません。

4. おわりに

現状はゲームやファッション、音楽といったエンターテインメント性が強調されがちなメタバースビジネスですが、シンガポールでは将来のビジネスチャンスに着目した取り組みが着実に広がりを見せています。このテーマは大変興味深く、当事務所でも引き続きウォッチしてまいります。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp